教育研究業績書

2025年05月07日

所属： 生活環境学科　　資格： 准教授　　氏名： 北原　摩留

研究分野	研究内容のキーワード
インテリアデザイン	インテリアデザイン、家具デザイン、建築設計
学位	最終学歴
修士（政策・メディア）	慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 修士課程 修了

教育上の能力に関する事項

事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
1.H1-33教室　コンピュータ整備事業のコーディネート	2017年4月～11月	H1-33教室にノートPC、プリンター、無線LAN環境を構築する事業を提案、主導した。その結果、最後のプレゼンテーション作業までこの教室で行うことが可能となり、デザイン実習の授業におけるデザインの企画力→発想力→制作力に加え、最終ステップである提案力までを一貫して教育することが可能となり、学生のデザインスキル向上および高度な職業人を輩出することが期待できる環境を整備することができた。
2 作成した教科書、教材		
1.桑沢スペースデザイン年報2015-16	2016年7月1日	授業「インテリアデザインＡ」指導学生の作品「NOZOKI」について、作品批評、解説および授業内容説明を２ページにわたって掲載した。
2.桑沢スペースデザイン年報2014-15	2015年7月1日	授業「インテリアデザインＡ」指導学生の作品「d COFFEE」について、作品批評、解説および授業内容説明を２ページにわたって掲載した。
3.桑沢スペースデザイン年報2013-14	2014年7月1日	授業「インテリアデザインＡ」指導学生の作品「穴熊」「gela」について、作品批評、解説および授業内容説明を２ページにわたって掲載した。
4.桑沢スペースデザイン年報2012-13	2013年7月1日	授業「インテリアデザインＡ」指導学生の作品「KAMI no MORI」「information pit」について、作品批評、解説および授業内容説明を２ページにわたって掲載した。
5.桑沢スペースデザイン年報2011-12	2012年7月1日	授業「インテリアデザインＡ」指導学生の作品「パペリウム」について、作品批評、解説および授業内容説明を２ページにわたって掲載した。
6.桑沢スペースデザイン年報2010-11	2011年7月15日	授業「インテリアデザインＡ」指導学生の作品「イマアルモノ」「long communication」について、作品批評、解説および授業内容説明を２ページにわたって掲載した。
7.桑沢スペースデザイン年報2009-10	2010年7月15日	授業「インテリアデザインＡ」指導学生の作品「R18」について、作品批評、解説および授業内容説明を２ページにわたって掲載した。
8.桑沢スペースデザイン年報2008-09	2009年7月1日	授業「卒業制作」指導学生の作品「SHIBUYA erosion」について、作品批評、解説および授業内容説明を６ページにわたって掲載した。
9.桑沢スペースデザイン年報2007-08	2008年6月20日	授業「卒業制作」指導学生の作品「HOTEL OUR SPECIALDAY」について、作品批評、解説および授業内容説明を６ページにわたって掲載した。
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1.文化学園大学 造形学部 非常勤講師	2015年4月1日～2016年3月31日	
2.武庫川女子大学 短期大学部生活造形学科 非常勤講師	2011年4月1日～2016年3月31日	
3.桑沢デザイン研究所 スペースデザイン分野 非常勤講師	2007年4月1日～2016年3月31日	
4 その他		
1.高大連携 出張講義（高2用）	2021年2月	学科選択を控えた武庫川女子大学附属高等学校の2年生に向けて、生徒から事前に寄せられた生活環境学科に関する質問に回答したり、本学科の学びに関心を持ってもらえるよう「社会問題とデザイン」というテーマ

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
4 その他		
		で出張講義を行った（リモート形式）。
2.高大連携 出張講義（高1用）	2021年2月	生活環境学科の雰囲気をつかみ、進路先を決める際に役立て、自分のキャリア形成の足掛かりにしてもらうことを目的とし、武庫川女子大学附属高等学校の1年生に向けた講義動画を提供。
3.馬術部　部長	2018年4月～現在	本学馬術部の部長として、部員が大会で成果が出せるよう部活動をサポートしている。
4.高大連携 出張講義（高3用）	2018年2月13日～16日	武庫川女子大学附属高等学校から生活環境学科・生活造形学科へ入学する高校3年生に対する「入学前教育Ⅰ,Ⅱ」の授業を担当。入学後、スムースに大学教育へ移行できるよう本学科の特長を掴んでもらうことに主眼を置いた課題の出題および指導を行なった。
5.桑沢デザイン研究所 卒業制作展指導	2008年2月～2009年2月	桑沢デザイン研究所において非常勤講師を務めていた際、「卒業制作」の授業を指導していた延長で、２月末に学内で開催される卒業制作展における展示指導を行った。

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
1.一級建築士	2002年1月21日	登録者：国土交通大臣　林寛子 登録番号：第302558号
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1.「chinois 蓮歩」のグラフィックデザインコーディネート	2020年12月～2021年2月	中国料理レストラン「chinois 蓮歩」との産学連携事業として、生活環境学科の学生がデザイン提案を行った店名ロゴのグラフィックデザインコーディネートを行なった。
2.「みんなのちっちゃなアートボックス」のデザイン計画	2020年6月～2021年3月	鳴尾・武庫川女子大前駅の駅前広場に設置された「みんなのちっちゃなアートボックス」において、基本意匠デザイン計画および詳細デザインのアドバイスを行った。
3.「西宮すなご医療福祉センター」交流スペースのインテリアデザインコーディネート	2019年9月～2020年3月	社会福祉法人甲山福祉センターとの産学連携事業として、生活環境学科の学生がデザイン提案を行った「西宮すなご医療福祉センター」内の交流スペースのインテリアデザインコーディネートを行なった。
4.「ricco園田保育園」のインテリアデザインコーディネート	2019年9月～2020年3月	社会福祉法人ウィステリアとの産学連携事業として、生活環境学科の学生がデザイン提案を行った「ricco園田保育園」のインテリアデザインコーディネートを行なった。
5.「OSAMPO BASE」のインテリアデザインコーディネート	2018年4月～10月	一般社団法人まちのね浜甲子園との産学連携事業として、生活環境学科の学生がデザイン提案を行った浜甲子園団地内の新設コミュニティスペース「OSAMPO BASE」のインテリアデザインコーディネートを行った。
6.「武庫女ステーションキャンパス」の基本ブロックプラン作成	2017年10月～2019年8月	鳴尾・武庫川女子大前駅に新設された「武庫女ステーションキャンパス」において、基本ブロックプラン作成、基本設計、詳細設計のアドバイスを行った。
7.「りそな銀行 西宮支店」のインテリアデザインコーディネート	2017年9月～2018年10月	株式会社りそな銀行との産学連携事業として、生活環境学科の学生がデザイン提案を行った「りそな銀行 西宮支店」のインテリアデザインコーディネートを行なった。
8.「ルック封筒」の技術を活かした新製品共同開発のデザインコーディネート	2017年9月～2018年3月	株式会社ヤマガタとの産学連携事業として、生活環境学科の学生がデザイン提案を行った新製品のデザインコーディネートを行なっている。
9.「HAMACO:LIVING」のインテリアデザインコーディネート	2016年9月～2017年4月	一般社団法人まちのね浜甲子園との産学連携事業として、生活環境学科の学生がデザイン提案を行った浜甲子園団地内の新設コミュニティスペース「HAMACO:LIVING」のインテリアデザインコーディネートを行っ

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
		た。
4 その他		
1.私立明浄学院高等学校生徒への学内施設案内	2021年9月24日	本学を訪れた私立明浄学院高等学校の生徒（1、2年生）に対し、引率して学内施設案内を行った。
2.仁川学院高等学校における大学模擬講義	2019年6月20日	仁川学院高等学校において、高校2年生36名に対して「住居・インテリア分野について」というテーマで講義を行った。
3.オープンキャンパスにおける施設見学ナビゲート	2018年8月11日	オープンキャンパスにおける学科プログラムの一環として、学科内の施設見学ナビゲートを担当。来訪した高校生に学科内の様々な教室を紹介し、専門的な学びを実現できる施設面の魅力をアピールした。
4.オープンキャンパスにおける相談コーナー担当	2018年8月10日	オープンキャンパスにおける相談コーナーの相談員を担当。コース再編プロジェクトワーキンググループ委員でもあることから、来訪した高校生から寄せられた新カリキュラムに関する質問に対して詳しく丁寧に説明した。
5.兵庫県立伊丹北高等学校における大学模擬講義	2018年3月16日	県立伊丹北高等学校において、高校生8名に対して「住居・インテリア分野について」というテーマで講義を行った。
6.H1-33教室のパソコン管理・運営責任者	2017年12月～現在	H1-33教室に設置されたノートパソコン25台およびカラープリンター2台の導入、更新、一括管理を行っており、運営責任者として学科内のパソコン教育環境の維持および改善に努めている。
7.兵庫県立夢野台高等学校生徒への講義および学内施設案内	2017年10月24日	本学を訪れた兵庫県立夢野台高等学校の生徒（2年生）に対し学科説明講義を行い、その後は引率して学内施設案内を行った。
8.就活支援プログラム「内定者座談会」のコーディネート	2017年10月14日	学科内就活キャリア支援プログラムの一環として、卒業学年の内定学生を多数招き、次年度就活学生が就活の進め方などを先輩に聞くことができる座談会を実施。広い職域にわたる内定学生を招集することで、就活学生にとって有意義な情報交換な場となるようコーディネートを行った。
9.オープンキャンパスにおける体験授業	2017年7月15日～16日	オープンキャンパスにおける学科プログラムの一環として、体験授業「紙でつくろう －折ってつくる箱づくり体験－」を担当。来訪した高校生に対し、手をつくって紙から立体をつくるおもしろさを体験してもらい、インテリアや建築にも及ぶ概念を理解してもらうことで学科の学びを広く周知させることに務めた。
10.学科内コース再編プロジェクトワーキンググループ委員	2017年4月～現在	学科内のコース再編プロジェクトワーキンググループ委員として、2019年度に再編される予定の新カリキュラムの検討を行っている。
11.教学局キャリア対策委員	2017年4月～2020年3月	本学着任以前の民間企業勤務経験を活かし、キャリア対策委員として生活環境学科および生活造形学科の学生のキャリア形成および就職活動の支援を積極的に行なっている。
12.生活造形学科卒業制作展委員長	2017年4月～2020年3月	生活造形学科卒業制作展の委員長として、教育的効果が伝わるよう学生の作品を効果的に展示し、学内外に向けた学科広報に務めている。
13.HAMACO:DANCHI COLLEGEにおける地域住民向け講座	2017年2月4日	一般社団法人まちのね浜甲子園と武庫川女子大学の連携事業として「世界の伝統文様を描くオリジナル食器づくり」という市民講座を担当した。前半は世界の伝統文様についてわかりやすく解説。後半はオーブンで焼くと色が定着する特殊なカラーペンを用いて、配布した白い食器に参加者それぞれ自由に文様を描いてもらい、自分の作品を記念に持ち帰ってもらうことで。歴史と文化の象徴ともいえる文様を身近なものとして捉えてもらえるよう工夫した。
14.尼崎市立尼崎高等学校における大学模擬講義	2016年12月19日	市立尼崎高等学校において、2回にわたり高校生9名に対して「住居・インテリア分野について」というテーマで講義を行った。

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
4 その他		
15.オープンキャンパスにおける体験授業	2016年7月16日～17日	オープンキャンパスにおける学科プログラムの一環として、体験授業「紙でつくろう －折ってつくる箱づくり体験－」を担当。来訪した高校生に対し、手をつくって紙から立体をつくるおもしろさを体験してもらい、インテリアや建築にも及ぶ概念を理解してもらうことで学科の学びを広く周知させることに務めた。

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
2 学位論文				
1.太陽光ヴォイド空間を用いた超高層垂直都市の提案［修士論文］	単	1997年12月	慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 修士論文発表会	東京における「郊外へのスプロール現象」「自然環境の喪失」という深刻な都市問題を解決することを目的に超高層垂直都市を構築する研究。具体的には、超高層垂直都市を構築することで、住居の大量供給による夜間人口の回復と、地上レベル解放による自然環境の再生を目指す。さらに超高層空間へ積極的にヴォイド空間（吹き抜け）を取り込んで空間領域に流動性、非均質性を生み出し、より都市性を増す提案を行った。
3 学術論文				
その他				
１．学会ゲストスピーカー				
２．学会発表				
３．総説				
1.HAMACO:LIVING -産学連携による浜甲子園団地内コミュニティスペースのインテリアデザイン-	共	2017年10月1日	武庫川女子大学『生活環境学研究 5号 2017』66-69頁	森本真
2.北名古屋プロジェクト -ひとが集まる公園のような自動車販売店-	単	2016年10月1日	武庫川女子大学『生活環境学研究 4号 2016』48-51頁	
４．芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
1.chinois 蓮歩	単	2021年3月竣工	埼玉県川越市	「蔵造りの町並み」で知られる埼玉県川越市のメインストリートに建つ、古くからの木造家屋に計画された中国料理レストランのインテリアデザイン。 柱の多さや勾配天井といった空間形態を生かし、トーンを落とした落ち着いたカラースキームで全体を構成しながら、様々な照明器具を店舗空間内に点在させて、どの席でもゆったり穏やかに過ごすことができるダイニング空間をデザインした。
2.ネッツトヨタ名古屋港・名四店	単	2018年3月竣工	愛知県名古屋市港区	３層からなる自動車販売ショールームのインテリアデザイン計画。「円」をデザインモチーフとして、平面計画、床パターン、特注家具などへ積極的にカーブラインを採用することで、やわらかい形状の空間に置かれるクルマが際立って見えることを意識した。円形プランが実現したことで、角がなくなると同時に空間や家具に終わりがなくエンドレスに繋がることとなり、ひととひとの繋がりの永続性も体現。一方、１階に設けたトヨタ自動車のモータースポーツＰＲエリアは、ガラスや金属、タイルといったシャープな建材を直線的に用いることで、スポーツカーが持つスポーティーかつスピーディーな様をダイナミックに表現した。
3.TOKYO CITY KEIBA 高野毅厩舎	単	2017年10月竣工	東京都品川区	TOKYO CITY KEIBA（大井競馬場）内に建つ、馬が暮らす厩舎のファサードデザイン。ビタミンカラーのバレンシアオレンジをテーマカラーに設定し、騎手を乗せて疾走するサラブレッドの躍動感あるフォームをランダムストライプ柄のグラフィックにして、市松パターンで外壁に構成した。

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
４．芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
4.千疋屋総本店 東京駅銘品館南口店	単	2017年3月竣工	東京都中央区	前回の羽田空港店に続く高級果物店ギフトショップのリニューアル。東京駅は国内屈指のターミナル駅であり、競合するみやげ物店の中から顧客に選択してももらえるよう、主張しすぎずに存在をアピールする内装とすることに主眼を置いた。前回同様のガラスモザイクタイルに加え、見る角度によって色が変わって見える特殊シートをバック壁に貼り、フルーツのジューシーなイメージを具現化。
5.ネッツトヨタ名古屋 西春師勝店	単	2016年6月竣工	愛知県北名古屋市	愛知県下にある自動車販売ショールームのインテリアデザイン。「ひとが集まる公園のような自動車販売店」をメインコンセプトとして、２４台のモニターを樹状に構成した「デジタルツリー」を店内中央に設置し、その木の下で子どもたちが遊ぶ公園をイメージした。間接照明で浮かされた下り天井を雲に見立て、その雲間から陽が射すようにランダムな円形の間接照明を設けるなど、子どもから大人まで幅広い世代が集って楽しめるような空間を目指した。
6.千疋屋総本店 羽田空港第1ターミナル東京食賓館店	単	2015年12月竣工	東京都大田区	高級果物店が展開するギフトショップのリニューアル。フルーツの持つみずみずしさや透明感を内装に表現すべく、ディスプレイ什器にガラスモザイクタイルを貼って間接照明で輝かせ、遠方からでもすぐに千疋屋の店舗とわかるような、明るく鮮度の高い視認性を意識した。
7.IBM 大阪京橋事業所	単	2014年8月竣工	大阪府大阪市中央区	グローバルＩＴ企業のオフィス増床計画。就業者数が大幅に増員されることに伴い、既存フロアのレイアウト変更およびフロア増床が行われた。今回のオフィスデザインはなにより効率化が求められ、最大限のデスク数を確保するためにパズルの解を導く手法で設計。デザイン自体はシンプルさを追求したが、オフィス内のアクセントカラーとしてストレス減少の効果があるとされるアップルグリーンを随所に散りばめた。
8.京王プラザホテル新宿 樹林	単	2013年10月計画	東京都新宿区	新宿のシティホテル内にあるコーヒーショップのリニューアル計画。朝～昼～夕～深夜と営業が長時間にわたり、それぞれの時間帯によって客層やニーズが異なるマルチフェイス店舗であることから、空間の様相をそれに呼応させる試み。朝食のブッフェ時にサラダを冷やしたコールドテーブルを、深夜のバータイムにシャンパンクーラーとして機能させるなど、その工夫は多岐にわたる。
9.谷津保健クリニック	単	2013年9月竣工	千葉県習志野市	都下の私鉄駅前に新設された、まちのクリニック。症状の軽重はともかく、なんらかの身体的トラブルを解決すべく訪れる受診者に安心と落ち着きを与える空間を意識した。待合いコーナーの床やチェア、カーテンは白とアイボリーのコンビネーションをベースに、鎮静や緊張緩和に有効とされるペパーミントグリーンを配色し、見た目のさわやかさとともに心理的効果をも生み出した。
10.IBM 仙台事業所	単	2013年8月竣工	宮城県仙台市青葉区	新しいオフィスビルへの移転プロジェクト。エントランスロビーはすべての来訪者を受け止めるオフィスの顔的存在である。このオフィスでは、ツヤのある白色アルミストライプパネルをロビー突き当たりの壁全面に貼り、ＩＴ企業らしいクールでデジタルなデザインを実現した。社名ロゴサイン部は裏面からグレーに塗装したガラス貼で、ミラー加工したロゴだけが浮かび上がり、シャープな印象をもたらしている。
11.メディカルスクエア奏の杜クリニック	単	2013年7月竣工	千葉県習志野市	診療所も併設しているものの、メインは人間ドックなどの健診である。つまり健常者が訪れる空間であることから医療施設という意識を離れ、あまりスタティックになり過ぎない明るく落ち着いた空間をイメージ。また、このプロジェクト用に海外で買い付けてきたオリジナルペインティングのアートワークをクリニックの随所に多数配し、ギャラリーのような文化的エッセンスで受診者のリラクゼーションをアシストする。
12.初富保健病院	単	2013年3月竣工	千葉県鎌ヶ谷市	千葉県に建つ６６６床もの規模を誇る病院の全面リニューアルプロジェクト。できれば病院とは無縁な方がいいと皆に思わせるネガティブさを負担した施設であることを念頭に、見舞客など来訪者が使うロビーは気持ちを落ち着かせるべくトーンを下げ、また気が滅入りがちな入院患者が日常を過ごす病棟は、寡黙ながらも明るい色彩に。利用者のマインドに呼応させ、このふたつのテイストを使い分けてデザインした。
13.京王プラザホテル多	単	2013年2月竣	東京都多摩市	東京郊外に立地するシティホテルの大宴会場のリニューアル。オー

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
４．芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
摩 大宴会場		工		プンから長い時間が経ち、陳腐化した印象の大宴会場を一新させる床カーペットを提案した。それぞれの宴会場にテーマとして与えた季節感と、東京多摩地区の豊かな自然をモチーフに、ダイナミックなグラフィックをデザイン。カーペットを形成する生糸の素材、色選択はもちろん、パイル形状、配合バランスに至るまで綿密に計画して制作した。
14.IBM 仙台事業所	単	2011年10月竣工	宮城県仙台市青葉区	グローバルに展開するＩＴ企業のオフィスリニューアル。施錠された扉を介してオフィス内部と隣接したエントランスロビーは、オフィス内に届く自然光を引き込みつつ、高いプライバシーを確保する必要があった。このアンビバレンツなリクエストの解決策として、ガラスパイプを連続して並べた間仕切壁を設置。ガラスパイプは光のみを通して視線は歪めるため、オフィス内の機密もしっかり守られる。
15.オリンピック吉祥寺ビル［東急百貨店 吉祥寺店］	単	2011年6月竣工	東京都武蔵野市	吉祥寺にある百貨店の部分リニューアル計画。主に全フロアの客用トイレや共用通路、階段、従業員食堂などのバックヤードエリアも手掛けた。客用トイレは、デザイン性は当然として、そ+E55のデザインをいかに美しく保てるかというメンテナンス性も追求。スタッフダイニング（従業員食堂）は、店舗スタッフがリフレッシュできる唯一の場であることを考慮し、落ち着いたトーンで安らぎ空間を演出している。
16.ライズ タワー＆レジデンス モデルルーム	単	2010年12月竣工	東京都世田谷区	都心へ至近の立地に建つ超高層マンションのモデルルーム。いわゆる億ションだが、他のデザイナーが手がけたモデルルームがデコラティブなデザインで饒舌な高級感を演出していたため、逆に出過ぎない上質なデザインを要求された。ダークなウォールナットとアクセントのバーガンディレッドで落ち着いた構成とし、桜の花びらを封入したアクリルアートなどでやわらかい雰囲気をトッピングした。
17.蘇州バケーションビレッジ	共	2009年8月計画	中国・江蘇省	上海に隣接する都市の湖畔に計画された、中国の銀行による研究所兼リゾート保養施設。一流のモダンデザインを要求された本件は、レストラン、宴会場、客室など、保養施設というよりホテルレベルのグレード感が設定された。インテリアデザインのみならず、サイン計画、客室内のアメニティなど、広大な敷地の隅々にまで及ぶフルメニューでデザインし、完全ワンパッケージの提案を行った。
18.プラザ 柏高島屋ステーションモール店	単	2009年3月竣工	千葉県柏市	沿線を走る常磐線のラインカラーから引用したエメラルドグリーンをアクセントカラーに設定。天井の低さを感じさせないひとつの試みとして、店舗ファサードと店内柱型上部をガラスでカバーし内照させている。ガラスは均一に明るくするのではなく、あえてガラス越しにドットの光源を意識させることでメリハリとリズム感を与え、逆説的に明るさ感を倍加させている。また、天井を明るく見せる間接照明も設けた。
19.プラザ 阪急西宮ガーデンズ店	単	2008年11月竣工	兵庫県西宮市	入間店に引き続き天井の高い店舗を手がけることになった。陰影感をより演出するグラデーション状のストライプパターンをリデザインし、伸びやかで開放的な高天井の垂直性と立体感を強調した。またシンボリックに屹立する２本の柱型には、テーマカラーに設定したライトブルーとライトグリーンの２色をガラス裏面に塗装して目線上部から貼り、透明感のある伸びやかな店舗デザインを実現した。
20.プラザアウトレット 三井アウトレットパーク入間店	単	2008年3月竣工	埼玉県入間市	郊外型アウトレット特有の高い天井高を持つ輸入雑貨店。壁面什器高さは2,000㎜であり、そこからさらに１ｍも高い壁面のデザイン処理という課題に対し、円柱の陰影をモチーフにしたデジタルなストライプパターンを施した特注クロスを壁面上部に貼ることで、ある種のトロンプ・ルイユ的効果が生まれ、動きのあるリズム感を表現。また柱は色鉛筆をイメージさせるポップなカラーリングで、子連れ客に楽しさを訴求する。
21.fue by MIYAKO HOTELS	単	2008年3月竣工	奈良県奈良市	クライアントから提示された「レトロモダン」というテーマを受け、あたたかな雰囲気を創出する要素として、バレンシアオレンジをテーマカラーに設定し、店名ロゴやビストロカーテン、さらにはアートワークへ展開。深みのあるブラックチェリーの木目と、店内に浮遊するカッパー小叩き仕上げの特注ペンダントライトも相まっ

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
4．芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
				て、クラシカルながらも洗練されたあたたかみのあるビストロをデザインした。
22.プラザ 銀座店	単	2007年10月竣工	東京都中央区	全国展開する雑貨店チェーンの旗艦店リニューアル。地下１、２階に分かれ外部階段のみでしか行き来できなかったふたつのフロアを、踏面、蹴上ともに内照する新設のガラス階段により店内で繋ぎ、空間に連続性を生み出したことで、１＋１＝２以上の劇的な効果を生み出した。また上階はペパーミントグリーン、下階はウォームベージュのテーマカラーを設定し、ガラス塗装により旗艦店らしい上品さを演出した。
23.プラザ 京都藤井大丸店	単	2007年9月竣工	京都府京都市下京区	京都の百貨店内の雑貨店。敷地が地下１階の食品売り場と隣接しているため、それと明確に区画しつつも閉じ過ぎない二律背反が求められた。結果、区画ラインに沿ってガラスとスチールのセミパーティションを設け、視線を通すことで開きつつもガラスパネルで明快な境界線を引くデザインを提案。また土地柄を意識し「冠位十二階」の時代より高貴な色とされる紫をテーマカラーに採用、京都の深い歴史に敬意を表した。
24.クラステーション	単	2007年3月計画	東京都港区	ベトナム人女性オーナーシェフがアメリカで展開する人気シーフードダイニングの日本初進出計画。オーナー家がこだわる「風水」の概念を徹底的に空間化することで「気」を注入、レストランの活性化を図る。「風水」で相性がよいとされるカラーリングや地型、方角といった空間を構成するためのエッセンスを抽出し、キーワードとして提案した「東洋と西洋のハイブリッド」ともリンクさせるという試みに挑んだ。
25.プラザ 名古屋名鉄セブン店	単	2006年8月竣工	愛知県名古屋市中村区	中部の一大ターミナル名古屋駅に隣接する百貨店内の輸入雑貨店。ビビッドカラーのオレンジとピンクにアルマイト塗装を施したアルミリブパネルを主要な壁仕上げに採用した。工業製品である金属パネルが特有の輝きを保ちつつ、鮮やかな色彩をまとったことで、エッジを効かせながらも金属が持つクールな印象を排し、シルキーなやわらかい雰囲気を創出した。
26.アミーゴ 尼崎店	単	2006年3月計画	兵庫県尼崎市	１年前に手がけたペットショップの第２弾。前回コンセプト提案した「ペットとともに暮らすライフスタイルショップ」をさらに発展させ、動物とのふれあいをイメージした「アミーゴパーク」を店舗中央に設けた。このシンボリックなスペースに、客～ペット～スタッフという店に関わる３者が集うべく、テクスチャーにこだわったインテリアエレメントで構成した。
27.TIME 児島店	単	2006年3月計画	岡山県倉敷市	既存ホームセンターのサインデザインのみをリニューアルする計画。文字のみだった従来の売場サインを排し、グラフィックにて直感的に訴求するデザインを提案した。売られる商品は「ツール」に過ぎないが、そのツールと「ひと」がリンクするライフスタイルまでイメージできるよう、ツールを持つ女性のシルエットをグラフィックに採用、「ツールが生み出す豊かな生活」を提案した。
28.プラザ 羽田空港第１ターミナル店	単	2006年3月竣工	東京都大田区	空港内に立地する雑貨店。羽田空港第１ターミナルに乗り入れる日本航空のコーポレートカラーである赤をピックアップしてデザインした。空港というトランジットの場であるがゆえに、限られた時間ですばやく求める商品にアクセスできるよう、コンビニエンスストアを参考に、できるだけシンプルな店内レイアウト、わかりやすいデザインを心がけた。
29.プラザ 梅田店	単	2005年9月竣工	大阪府大阪市北区	系列店で西日本一の売上を誇る輸入雑貨店。交通の要所である梅田駅という流出入人口が多い場所だけに、いかに店内へ誘うデザインができるか検討を重ねた。天井高はあるが照度が低いアーケードという周辺立地を逆に活かし、遠くからも視認可能な明るく光るガラスボックスをイメージ。光沢のある白いアルミパネルで構成した空間にアクセントカラーとしてオペラピンクを配色し、明るく快活な雰囲気を創り出した。
30.アミーゴ 神戸灘店	単	2005年7月竣工	兵庫県神戸市灘区	ペットという「生体を売る店」から脱却し、ペットとともに暮らす「ライフスタイルショップ」を目指すコンセプトを提案。また、店舗中央ゾーンにリング状のペットブースを設置し、店のどこからも見える目玉とした。ライバルは競合店舗ではなく、動物園、水族館を強く意識してデザイン。さらに店舗ロゴを一新するデザインコン

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
４．芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
				ぺの審査委員長も務めるなど、１店舗のトータルディレクションを担い、チームを牽引した。
31.プライヴブルー東京	共	2005年2月竣工	東京都江東区	デザインスタイルの異なる３タイプの住戸モデルルームや、エントランスホールをはじめとしたパブリックエリアのインテリアデザインのみならず、ファサードデザインディレクションも担当し、大型マンションゆえの巨大なヴォリューム感をいかに低減させるかを検討していった。またインテリアにおいては「ハレ」、「ケ」どちらの空間にも馴染むよう、控えめながらも質の高いホテルライクな空間創出に努めた。
32.ソニープラザ 西梅田ハービスENT店	単	2004年11月竣工	大阪府大阪市北区	大阪の高級ブティック店が並ぶ一角に出店した雑貨店。周辺環境を意識し、コストを掛けずに高級感をどう演出するかがメインテーマとなった。壁仕上を様々検討し、キラキラと反射し平滑な光沢感を持つガラスを主要仕上材とした。さらにガラス裏からトーンを落としたバーガンディレッドの塗装を施し、表面の光沢感が醸し出す高級感に加え、落ち着きのある色彩により上質な雰囲気を演出した。
33.SERENDIPITY 日本橋店	共	2003年3月竣工	東京都中央区	輸入雑貨店のソニープラザ（現プラザ）が手がけた、大人をターゲットとしたギフト向けの総合ライフスタイルショップ。１フロアの広大な敷地に、雑貨、コスメ、アパレル、カフェ、ネイルサロンといった衣食住の各ゾーンをレイアウト。それぞれを自律させつつ全体調和も図るというアンビバレンツな構成は、「ゾーン」を「店舗」に、「通路」を「道路」に置き換えた都市計画的観点で計画していった。
34.トゥーランドット游仙境 六本木ヒルズ店	単	2003年3月竣工	東京都港区	中国料理の鉄人シェフによるカジュアルチャイニーズレストランプロジェクト。パワフルでダイナミックな調理過程を楽しんでもらえるライブキッチンのあり方について様々検討。コンロ上に置かれ、激しく振られる中華鍋のみをフレームで切り取ってガラス越しに見せる手法により、フレーム内で踊って跳ねる具材たちがごちそうに変身する劇場的演出が、ゲストの目を楽しませる。
35.BASARA JAKARTA	共	2001年12月竣工	インドネシア・ジャカルタ	高級日本料理店の海外進出第１弾プロジェクト。インテリアデザインは、日本にはない現地産の素材（大理石、御影石、フローリング）をふんだんに取り入れジャパニーズモダンテイストを表現した。メインダイニングの天井には竹をイメージした径の異なるアルミパイプをリズミカルに配し、金属という工業製品でありながら天然素材の竹のイメージを彷彿とさせるやわらかく伸びやかな意匠に仕上げた。
36.那麓荘ワインセラー Opus One	共	2001年10月竣工	栃木県那須塩原市	高価なワイン5,000本を収納するワインセラーとテイスティングルームを増築する計画。レンガというローテク素材で構成した空間や、その壁から生えた棒と棒の間にワインを横たえる構造など、既視感のないワインセラーを実現。テイスティングルームにおいては、天板全面が光りグラスを置いたままワインの色を確認できるテーブルをデザイン。ボタンひとつでテーブル中央部が電動昇降するハイテクな機構も秘めている。
37.住友商事株式会社 東京本社	共	2001年6月竣工	東京都中央区	大手商社の本社プロジェクトにおいてオフィス内のサイン計画を担当した。オフィスという執務の場であることを念頭に、シンプルでリジッドなデザインを心がけた。特に会議室サインにおいては、会議室番号表記（日英）、在／不在表示、掲示板（マグネット、ピン両方に対応）を備える多機能さを求められ、統一感の取れたシンプルでスクウェアなサインを提案した。
38.Wakiya 一笑美茶樓	単	2001年6月竣工	東京都港区	テレビ番組「料理の鉄人」でおなじみのシェフのレストランデザインを、　フリーランスの立場ですべてひとりで担った。各階ごとにフローリング、畳、カーペット、石と床のマテリアルを変え、空間の差異が足を通して五感に伝播することを意図。またこのレストランでは、インテリア、照明器具、ランドスケープ、サインのデザイン、テーブルウェアディレクションまで行いレストラン全体をデザインプロデュースした。
39.宮城県迫桜高等学校	共	1999年9月竣工	宮城県栗原郡	この設計プロジェクトは、特定の機能と１対１で結びついた空間を「黒」、機能を限定せずシチュエーションによって性格が変わる空間を「白」と呼ぶことからスタートした。生徒のアクティビティを徹底的にリサーチして「黒」一色の空間だったこれまでの学校建築

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
４．芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
				を見直し、フレキシビリティの高い「白」空間の割合を高めた結果、生徒のアクティビティが視覚化され生き生きとした学校建築が実現した。
40.雑誌『SD』（スペースデザイン）98年7月号	共	1998年6月発行	鹿島出版会	昭和40年創刊のデザイン専門月刊誌（現在休刊中）。特集雑誌も設計事務所のポートフォリオ（＝作品）であるという観点から、在籍していた設計事務所が取り上げられた特集「シーラカンス 12年間の活動と次なる展開に向けて」の表紙および136ページにわたるすべてのページデザイン・レイアウトを担当。３次元である空間デザインのフィロソフィーを、２次元の雑誌メディア紙面に余すことなく表現した。
41.雑誌『穹＋』（きゅうぷらす） No.2	共	1998年2月発行	ヤマギワ株式会社 広報室 穹＋編集部	照明器具メーカーが出版した雑誌の創刊第２号。前号からさらに発展させて硬軟織り交ぜたコンテンツを構成し、出版する照明メーカーの企業イメージ向上と文化的活動をサポートする役割を果たした。雑誌名にある「穹」とは英語のVault, arch, domeであり、大地から天空を見上げた状態を指していることから、表紙に蓄光塗料であしらった無数の星形を散りばめる仕掛けを施し、遊び心を演出している。
42.クレアこうのす［鴻巣市文化センター］	共	1997年12月竣工	埼玉県鴻巣市	文化センターは大ホールなどヴォリューム感のある空間を内包しているため都市景観に与えるインパクトが大きい。このプロジェクトでは、平面に並べた要求ヴォリュームそれぞれの必要天井高から決まる空中のポイント同士を、滑らかな曲線で繋いで建築形態を決定していった。結果として柔らかなスカイラインを持つヴォリュームが立ち上がり、まちの景観にフィットした建築形態を実現した。
43.雑誌『穹＋』（きゅうぷらす） No.1	共	1997年4月発行	ヤマギワ株式会社 広報室 穹＋編集部	照明器具メーカーが創刊した新雑誌の編集業務。メーカーとはいえ自社製品紹介など営業的内容は一切排除した。読者ターゲットは製品をセレクトする立場にある建築家あるいはデザイナーとし、飛行機に置かれた機内誌の如く彼らの知的好奇心を刺激するような空間的コンテンツをグラフィカルに構成した。専門誌扱いではあったが一般書店にも広く流通し、雑誌メディアの情報伝達効果を身をもって実感した。
５．報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
1.軽井沢の新リゾートライフスタイルの研究 ―これからのリゾートのあり方について―［研究発表］	共	1996年10月	リゾート研究会（株式会社万平ホテルと慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 日端研究室による産学連携プロジェクト）	研究プロジェクトメンバーの一員として「観光」と明確に区別した「リゾート」について国内外の事例をリサーチし「リラクゼーションリゾート」のスタイルに着目。滞在する事そのものが目的となるため、高いプライベート性を維持しつつ、豊かな外部自然環境を内部に取り込む滞在型分棟リゾート「コテージ」客室の企画提案を行い、実際に万平ホテルにおけるコテージ新築へと繋げた。
６．研究費の取得状況				

学会及び社会における活動等	
年月日	事項
1.2018年4月～現在	芸術工学会
2.2014年10月～現在	日本建築学会
3.2014年10月～2017年3月	日本建築家協会
4.2004年10月～2008年3月	日本の生活産業を変える３０代の会
5.1997年4月～1999年3月	慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 「建築・都市計画デザインプログラム」（AUD）広報部長